



## ケヤリムシ（カンザシゴカイ科）の仲間

クリスマスツリーのように、えらを広げた「ゴカイ」の仲間である。  
体はサンゴに開けたあなに隠れて、大きく広げたえらのみが見えている。  
この大きく広げたえらを用いて、呼吸と同時に水中に漂うプランクトンなどの餌を捕まえる。

このえらに触れようとする、あなに引っ込んでしまう。  
泡瀬地区の干潟の潮だまりで観察された個体は、このえらがオレンジ色や赤色をしており、大変美しい。  
大きく広げたカラフルなえらが、海中にユラユラと揺れる様は、何とも優雅であり、不思議である。  
黒い墨をつけたら、大きな筆となりそうである。